

# 野球部の力になりたい チアリーダー結成される

▶平日は18時40分から19時40分まで、武道場で練習している。



赤鬼の春 14



速報新聞



本校の第90回記念選抜高等学校野球大会への出場決定に伴い、チアリーダーが募集された。今回は本校女子生徒23名、滋賀学園高等学校チアリーダー部7名での合同応援で、滋賀学園高等学校の村井三幸コーチを講師として迎え、練習を行っている。

体育科の木村優花先生は今回のチアリーダーディングについて「夏の甲子園にも参加してくれた人を中心として、良い応援がしたい。全校の中心となって応援ができるように、毎日練習していきたい」と意気込まれた。また「夏は初心者が多かったが、今回は経験者がいるので新しく加わる人に教えたり、中心になって新しいことにチャレンジしたりすることで成長してほしい」と話された。最後に集まった女子生徒に向けて「勉強や部活などがあるが、一生懸命応援したいと思って集まってい

る。応援して野球部を後押しできるチアリーダーになってほしい」とエールを送られた。

チアリーダーの代表者となった東田七瀬さん(2-6)はチアリーダーディング練習に向けて「滋賀学園高校のチアリーダーのみなさんが練習するたびに来てくださっている。それに比べられるように頑張りたい」と意気込んだ。東田さんは夏の甲子園でもチアリーダーを務めており「経験者として、新しく入ってきた人たちが遅れを感じないようにサポート出来るようにしている」と意識していることを述べた。全校生徒に向けて「チアリーダーなので全校生徒が応援しやすいようにリードしていきたい。自分たちも声を出して頑張るので、一緒に声を出してもらえたらうれしい」と話した。最後に東田さんは野球部に向けて「2回も甲子園で応援させてもらえることに感謝している。野球部のみんなの力になれるように一生懸命応援するので、頑張ってください」とメッセージを送った。

今回で4度目の指導をしていただく村井コーチは、練習中のメンバーたちの様子を見て、「2回目の人たちは楽しそうにしている。とても良い雰囲気だ」と明かされた。メンバーたちに向けて「一度、甲子園での応援を経験しているので、全校生徒が応援しやすいようにリードしてほしい。練習期間が短く、覚えることもたくさんある。大変だと思うが、野球部のパワーになれるようにみんなで力を合わせて頑張ってください」と励まされた。



▲チアリーダーに志望し、木村先生から説明を受ける生徒たち